



9/13 前期課程 人権参観 参加ありがとうございました。

●本校では、「子どもの人権を守ること」を最優先にして「その子が安心して過ごせる居場所」の確保に努め、学校・地域・社会とつながる教育活動を組織的に推進しています。これは、今年の重点目標の一番目に掲げています。教員・SS(スクールサポーター)・SC(スクールカウンセラー)・SSW(スクール・ソーシャルワーカー)・介助員・校内教育支援員・外国人児童生徒支援員・教育委員会指導主事・福祉課職員・自立活動支援教室指導員など、能勢ささゆり学園の教職員が「チーム学校」として、子どもたちの教育活動を進めています。いろんな立場の大人たちが、子どもの成長を願って、日々、対話を続けています。



●子どもたちには、毎日、学校生活の中で様々な出来事が起こります。やりたいことがスムーズにできることもあれば、できないときもあります。友達と仲よくできる日もあれば、ケンカしてつい悪口を言うてしまうこともあります。何気ない一言に心が痛むときもあります。心穏やかに過ごしたいと思っても、思うようにいかないこともあります。だれもが自分らしく「もちあじ」を出し合い、友達と分かり合えたら、より安心した学校生活をおくることができます。だれもが、気分良く、すがすがしい気持ちで学校生活をおくることができるように心がけていきたいものです。

●9月13日(金)前期人権参観・懇談会がありました。保護者の方々、多数お集まりいただきありがとうございました。1年生は「こんな自分、こんな友達 大発見!!」2年生は「なんていえばいいのかな・お手紙」3年生は「みんなのもちあじ～ありのままのあなたで～」4年生は「仲間がくれた わたしのもちあじ」、5年生は「コリアタウンへようこそ」、6年生は「渋染一揆」を学習しました。どの学年も発達段階に合わせて「ありのままの自分が出せているか」「安心ルール」「友達の知らなかったことを知り合う」「自分のもちあじを出して次はどうしていきたいか?」「お隣の韓国の文化について知り合う」「着るものや履物、住む場所、物のやりと・等を勝手に決められた江戸時代のお触書に立ち向かった渋染一揆」について学びました。どの学年も意味があり、ねうちのある題材で「人権」について親子で考えるいい機会になりました。授業や懇談の感想がありましたら、ご提出ください。



9/6 大路次川 4年生川遊び体験 能勢町漁業組合のご協力で

●9月6日、4年生が学校から近い下田・平通付近の大路次川で川遊び体験をおこないました。4年生の総合的な学習で「川遊び実行委員」の企画で進められたこのとりくみ。この時期は、アユの獵期期間中なので、本来なら入漁料を支払わないと川に入って魚はとれませんが、特別にこの場所ならと漁業組合の許可をいただき、貴重な体験ができました。

●高下教頭先生と私で事前に土手から降りた川岸の下草刈りをおこないました。前日には、漁業組合の谷川さんや川本・系山校務員さんも事前に網を仕掛け、アユをとって子どもたちに見せるためにお手伝いくださいました。当日、実際にアユを見た子どもたちは大喜びでした。アユやとった魚はすべて川にリリースしておきました。

●水不足で水量が少なかった大路次川でしたが、子どもたちは、ヨシノボリ、ハヤ、オイカワ、メダカ、タニシなどを捕えたり、水中眼鏡をかけて泳いだり、水鉄砲で水を掛け合ったりと、能勢の川遊びを満喫しました。

